

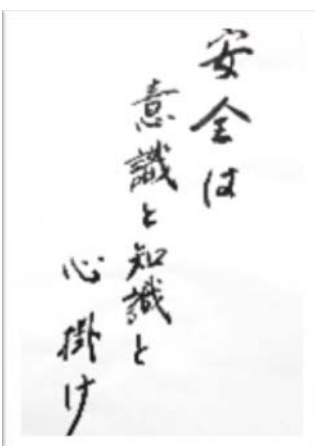
鴻池荘

リハビリ日より

特集号

介護老人保健施設鴻池荘
受付時間 9:00~17:00
TEL 0745(64)2180
FAX 0745(62)1092
担当者：相談員

大災害に備えよう!!



通所リハビリ利用者作

近年、各地で大きな災害に見舞われています。奈良県は少ないと言われますが、南海トラフ地震等、大規模な被害も想定されます。そういった中でご利用者の命を守るでしようか？

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、実に90%以上が自分・家族や近隣住民によって救出されています。そのため、災害時の基本は、各々で身を守る

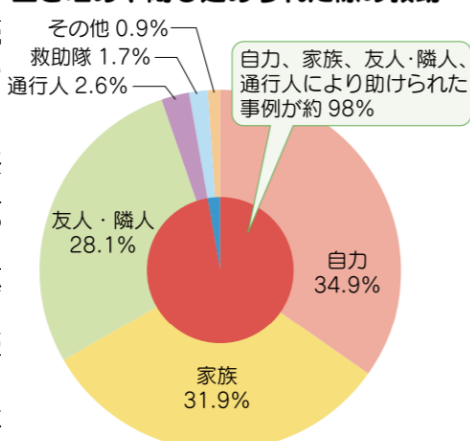
「自助」です。日頃から備え、ご家族・ご利用者と相談しておきましょう。まず、地震では倒れてきた家具の下敷き、落下した食器で怪我をしやすいです。日頃から家具の固定や配置を見直し、備えましょう。

被害を減らす「自助」と「互助」



続いて、洪水や土砂災害では、早めの対策が不可欠です。特別警報発令後では、手遅れなことが多いと言われます。市町村から指示が出た際は、ご利用者への案内とご家族への協力を積極的にに行い、事前避難を促していきましょう。助けられることも想定し家族や地域の方を頼った**「互助」**も忘れてはなりません。家族間では、慌てず行動できるように、普段から避難場所・連絡手段の相談を促す働きかけも重要です。

生き埋めや閉じ込められた際の救助



(出典：(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」)

サービス担当者会議にはリハビリスタッフも必ず参加させていただきます

リハ会議

3ヶ月に1回以上
ご家族・ご本人
交えて

鴻池荘のご利用者で1人で暮らさず、一部を家族やサポーターやサービスを利用する事で生活が成り立っている方もおられます。今回、災害時にご利用者の安全を確認する方法等、鴻池荘が果たすべき役割を見直す機会として、6月にリハビリセッション会議の中で、6月に起きた地震や豪雨時の話を聞く機会がありました。普段の生活も手伝いが必要な中で突然の災害は不安を強く、電話連絡だけではなく、直接、家を尋ねるときに状況を確認されたという話を聞きました。ざという時のために防災対策をされている家庭も増えてきました。しかし、一緒に暮らしていきながら、確認方法など防災について相談する機会が少ない事が予測できます。その中でリハビリセッション会議を有効に活用して頂くことも1つとして、災害の知識・情報を集め、ご家族役となり少しでもご利用者、ご家族に安心感を抱いて頂ける様心がけていきます。

1人でも安全に過ごすかな!!
災害対策もリハ会議で